

# 第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調書

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分				
81	協働による地域価値の維持・向上		区画整理課	3-1-1-007	新規				
基本方針	多様な主体・地域が協働したまちづくりの推進	大項目 市民や地域との協働の推進	中項目	協働推進システムの構築					
取組概要	計画・区画整理事業施行段階から、まちづくりの将来像を関係者間で共有化、実現するための方策を検討し、良好な開発・街並みの誘導や環境及び地域の価値を維持・増進する取組みを進める。現在、施行中の思川西部区画整理事業をモデル地区として誘導を図る。		達成目標	エリアマネジメント組織の立ち上げの促進 平成30年度に1組織を立ち上げ	目標年度 H31				
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
エリアマネジメントの必要性を打診	活動計画	▲							
	実施状況	▲	▲	▲					
マネジメント組織への支援内容検討	活動計画		▲						
	実施状況	—	—	—					
組織化への働きかけ	活動計画		▲	▲					
	実施状況	—	—	—					
ルールづくりの調査・研究	活動計画			▲					
	実施状況	—	—	—					
事業完了に伴う組織とルールづくり	活動計画				●				
	実施状況	—	—	—					
ルールに基づいた活動の開始	活動計画					●			
	実施状況	—	—	—					
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	累計実績	達成率
組織化への働きかけ	目標値	3	3	4			10	3	30.0%
	実績値	1	1	1					
エリアマネジメント活動団体の組織化	目標値				1		1	0	0.0%
	実績値		0	0					
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容			
H27	区画整理組合役員への将来におけるエリアマネジメントの必要性を打診		月に一度、定期的開催している区画整理組合理事会において、役員を対象に「まち」の将来像について考えていく必要性を打診した。 進捗度 C 計画よりやや遅い			役員の間では事業の進捗を図ることが優先され、「まちを育てる」感覚が生まれてこない。ソフト部分の重要性を再認識してもらう。			
H28	区画整理組合役員への将来におけるエリアマネジメントの必要性を打診		引き続き区画整理組合理事会にて、役員を対象に「まち」の将来像について考えていく必要性を打診した。 進捗度 C 計画よりやや遅い			平成28年度は大規模商業施設誘致実現への取組みが最優先され、「まちを育てる」感覚を植えつけることができなかったため、改めてソフト部分の重要性を伝え、再認識してもらう。			
H29	マネジメント組織への支援内容の検討 組織化への働きかけ ルールづくりの調査・研究		保留地を購入したハウスメーカーに今後地区の新住民に当該地区の地域活動を委ねたい旨説明し、ハウスメーカーを介し新住民の代表者を決定した。 進捗度 D 計画より大幅に遅い			まちづくりは地権者より住民が主体となるべきと考え、当該地区に新住民を中心とした新しい自治会立ち上げていく。			
H30	区画整理事業の完了に伴う新しいまちづくり団体の組織化 魅力あるまちづくりのコンセプトの設定とルールづくり		進捗度						
H31	まちを育てるルールに基づいた活動の開始 継続的な活動体制の確立		進捗度						